



VAULT[®] 製品マニュアル

補足資料 \VAULT4.1.0 以降の管理フォルダーについて

本書のご利用にあたって

本文書には著作権によって保護される内容が含まれています。本書の内容の一部または全部を著作者の許諾なしに複製改変、および翻訳することは、著作権法下での許可事項を除き禁止されています。本文書内の社名、製品名は各社の商標、又は登録商標です。本文書の内容は 2012 年 11 月 15 日現在のものです。

※本文書で使用している情報及び画像は本文書執筆時点のものです。そのため、最新版の製品および製品 Web サイトと文言やデザイン等が異なる場合がございます。

制限が設定された管理フォルダーにアクセスするには？

VVAULT の構成ストレージの管理対象パス直下に自動的に作成される管理フォルダーの設定が、VVAULT4.1.0 以降変更となりました。

これまで VVAULT の管理フォルダ（「VV000」など）にはアクセス可能な設定となっていましたが、VVAULT4.1.0 以降ではデフォルトで「隠しファイル」属性の付与と、NTFS にてフォーマットされたローカルハードディスクの場合には「セキュリティ」を設定し、管理フォルダーへの不用意なアクセスを制限しています。

ここでは VVAULT のアンインストール後や、何らかの理由で管理フォルダー内のファイルにアクセスする必要のある場合の手順について説明します。

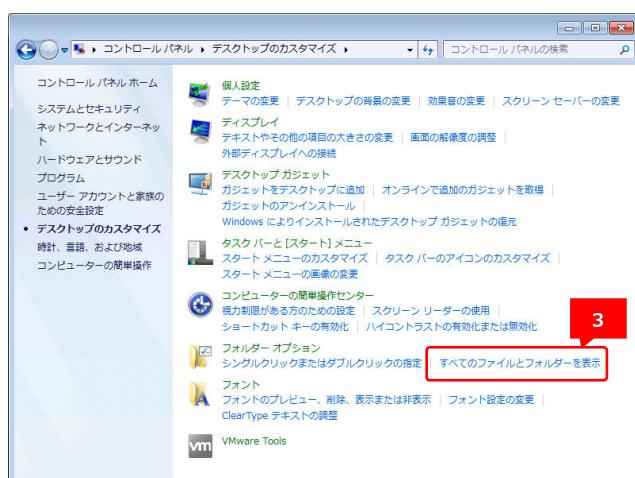
1. Windows Server 2008 / 2008 R2、Windows Vista / 7 の場合

管理フォルダーは「隠しファイル」属性が設定されているため、管理対象パスをエクスプローラーにて参照した場合、デフォルトの設定では表示されません。下記の手順に従い、管理フォルダーを表示させます。

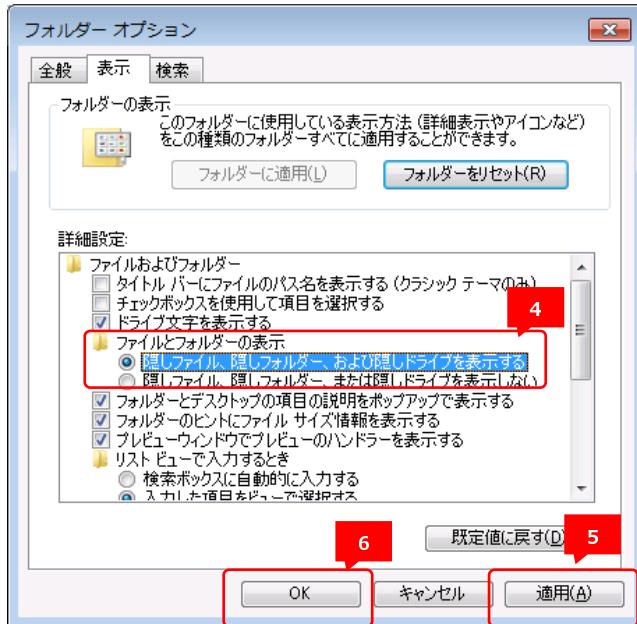


1 管理権限のあるユーザーで、「スタート」より「コントロールパネル」を開きます。

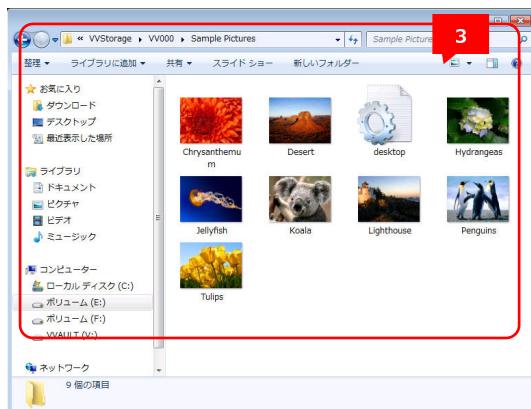
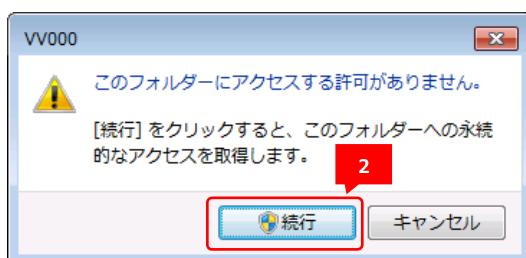
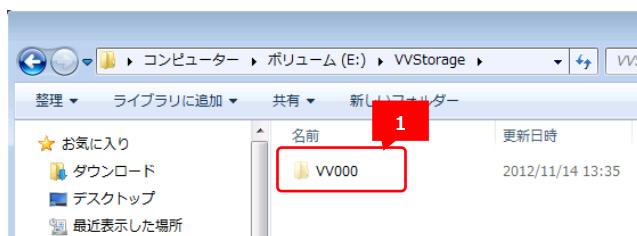
2 「コントロールパネル」の「カテゴリー」より「デスクトップのカスタマイズ」または「デザイン」を選択します。
※設定によって、カテゴリーが表示されていない場合があります。その場合は「フォルダーオプション」を選択してください。



3 「フォルダーオプション」の「すべてのファイルとフォルダーを表示」を選択します。



次にセキュリティによりアクセスが制限されている場合、下記の手順に従い、アクセス権限を追加します。



4 「フォルダー オプション」の「表示」タブの「詳細設定」にて「ファイルとフォルダーの表示」の「隠しファイル、隠しフォルダー、および隠しドライブを表示する」を選択します。

5 「適用」をクリックします。

6 「OK」をクリックしてウィンドウを閉じます。

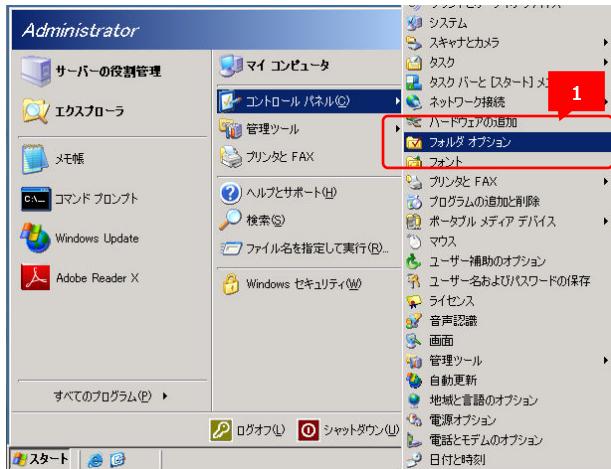
1 管理フォルダーをダブルクリックします。

2 アクセス許可の確認ダイアログにて「続行」をクリックします。

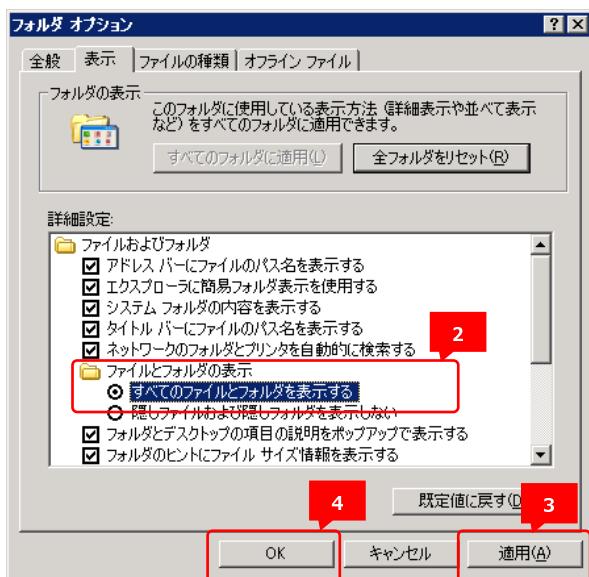
3 管理フォルダー内の任意のデータを確認します。

2. Windows Server 2003 R2 の場合

下記の手順に従い、管理フォルダーを表示させます。



- 1 管理権限のあるユーザーで、「コントロールパネル」「フォルダ オプション」を選択します。

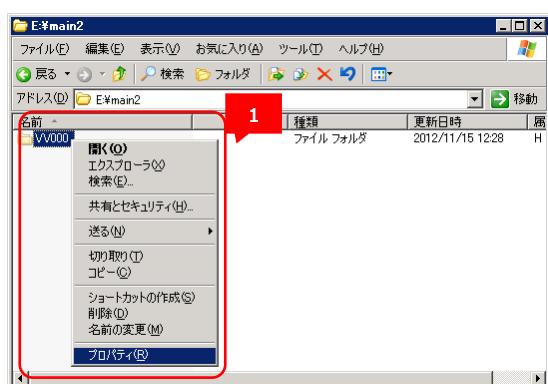


- 2 「フォルダ オプション」画面の「表示」タブの「詳細設定」にて「ファイルとフォルダーの表示」の「隠しファイル、隠しフォルダー、および隠しドライブを表示する」を選択します。

- 3 「適用」をクリックします。

- 4 「OK」をクリックしてウィンドウを閉じます。

次にセキュリティによりアクセスが制限されている場合、下記の手順に従い、アクセス権限を追加します。



- 1 管理フォルダーを選択し、右クリックメニューより「プロパティ(R)」を選択します。



2 管理フォルダーの「プロパティ」画面の「セキュリティ」タブより、「追加」をクリックします。

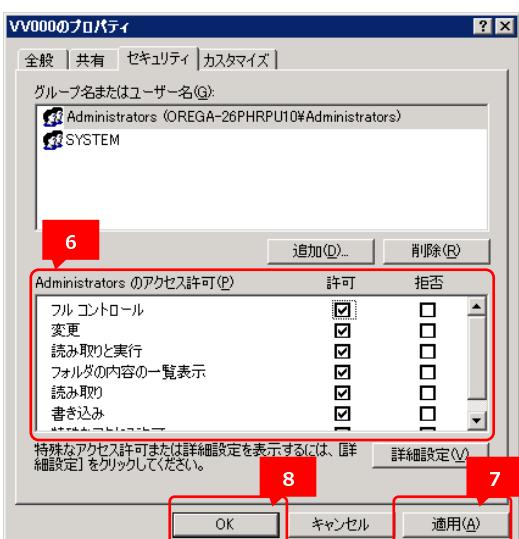


3 「ユーザー または グループ の選択」画面のオブジェクト名入力に管理者のアカウント名またはグループ名を入力します。

※左図では「Administrators」グループを設定しています。

4 「名前の確認」をクリックします。

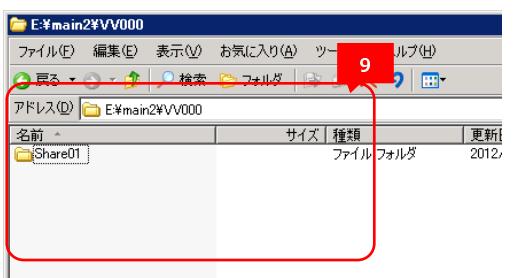
5 「OK」をクリックします。



6 プロパティ画面より、追加したアカウントを選択した状態で、任意のアクセス許可を設定します。

7 「適用」をクリックします。

8 「OK」をクリックし、画面を閉じます。



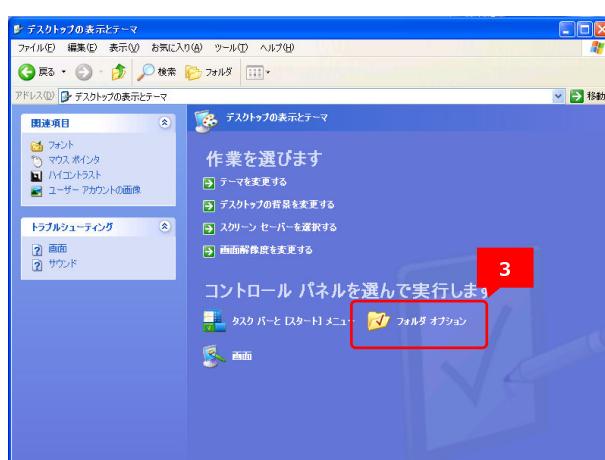
9 管理フォルダーにアクセスし、任意のデータを確認します。

3. Windows XP の場合

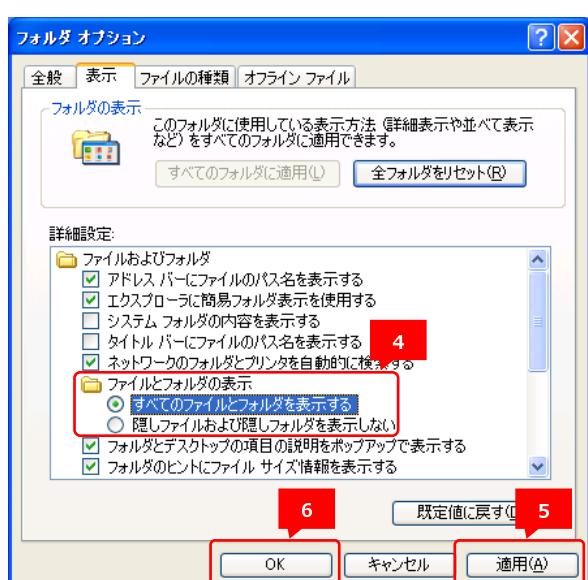
下記の手順に従い、管理フォルダーを表示させます。



1 管理権限のあるユーザーで、「コントロールパネル」を開きます。



2 「コントロールパネル」より「デスクトップの表示とテーマ」を選択します。
※設定によって、カテゴリーが表示されていない場合があります。その場合は「フォルダーオプション」を選択してください。



3 「デスクトップの表示とテーマ」より「フォルダーオプション」を選択します。

4 「フォルダ オプション」画面の「表示」タブの「詳細設定」にて「ファイルとフォルダの表示」の「すべてのファイルとフォルダを表示する」を選択します。

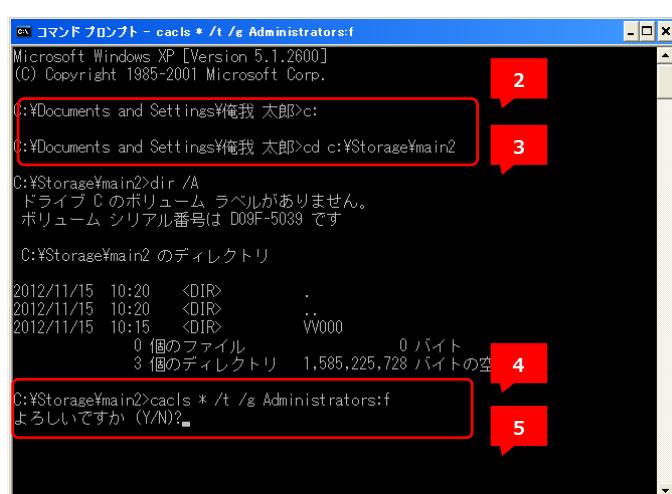
5 「適用」をクリックします。

6 「OK」をクリックしてウィンドウを閉じます。

次にセキュリティによりアクセスが制限されている場合、下記の手順に従い、アクセス権限を追加します。



- 1 「スタート」メニューの「すべてのプログラム」「アクセサリ」より「コマンドプロンプト」を選択します。



- 2 コマンドプロンプトより、構成ストレージのドライブを入力し、「Enter」キーを押下しドライブを移動します。

例) 構成ストレージの管理パスが、
C:\Storage\main2 の場合

> C: [Enter]

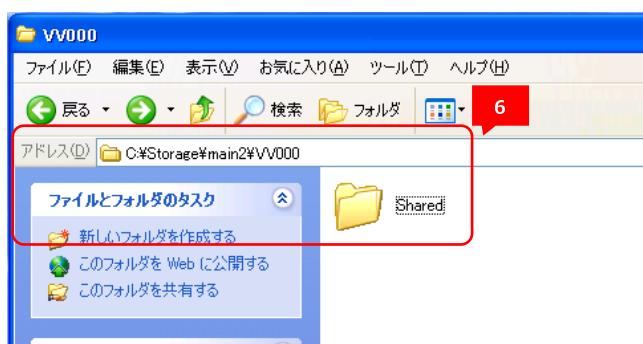
- 3 下記の通り構成ストレージの管理対象パスを入力し、移動します。

> C:\Storage\main2 [Enter]

- 4 Cacls コマンドにより下記の通り Administrators のフルコントロール権限を付与します。

> cacls * /t /g Administrators:f [Enter]

- 5 “よろしいですか (Y/N)?”と実行の確認が表示されますので、“Y”を入力し「Enter」キーを押下します。



- 6 管理フォルダーにアクセスし、任意のデータを確認します。



OREGA

株式会社オレガ

東京都新宿区山吹町347 藤和江戸川橋ビル6F
<http://www.orega.co.jp/>